

(様式9)

梨大医事発第17号  
平成21年10月 2日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人山梨大学長  
前田 秀一

特定機能病院山梨大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	87.0人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護婦及び准看護婦

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	197人	98.0人	273.4人	看護補助者	30人	診療エックス線技師	人
歯科医師	4人	4.0人	7.6人	理学療法士	5人	臨床検査技師	32人
薬 剤 師	26人	4.0人	30.0人	作業療法士	2人	臨床検査衛生検査技師	人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	2人	そ の 他	5人
助 産 師	21人	人	21.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看 護 師	432人	14人	440.5人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	4人
准看護婦	人	人	人	栄 養 士	2人	そ の 他 の 技 術 員	4人
歯科衛生士	1人	人	1.0人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 員	50人
管理栄養士	4人	人	4.0人	診療放射線技師	24人	そ の 他 の 職 員	47人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数に含めないで記入すること。  
 3. 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を少数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	483.0人	3.7人	486.7人
1日当たり平均外来患者数	1161.5人	47.5人	1209人
1日当たり平均調剤数	外来 132.0剤	入院 584.5剤	計 716.5剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日で除した数を記入すること。  
 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンピン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンピンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療の角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のも(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水泡型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水泡症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャー病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉砕骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ-リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1)疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾患の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。))	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレンジによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術（頸部良性腫瘍に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術（転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法（骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術（プルー・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療（ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法（胸部悪性腫瘍（従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。）に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法（腎悪性腫瘍（従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術（手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法（転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫（診断の確実なものに限る。）に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法（一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術（特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症（NIHF）例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの（妊娠二十週から三十四週未満に限る。）に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD（アナログ）直接注入療法（二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術（部分切除及び外側区域切除を除く。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援（前立腺がんに係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	24人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	15人
・多発性硬化症	44人	・ウェゲナー肉芽腫症	2人
・重症筋無力症	58人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	41人
・全身性エリトマトーデス	106人	・多系統萎縮症	16人
・スモン	3人	・表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	25人	・膿疱性乾癬	2人
・サルコイドーシス	20人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・筋萎縮性側索硬化症	39人	・原発性胆汁性肝硬変	24人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	65人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	42人	・特発性大腿骨頭壊死症	21人
・結節性動脈周囲炎	18人	・混合性結合組織病	12人
・潰瘍性大腸炎	56人	・原発性免疫不全症候群	1人
・大動脈炎症候群	9人	・特発性間質性肺炎	4人
・ビュルガー病	14人	・網膜色素変性症	39人
・天疱瘡	14人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	37人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	27人	・神経繊維腫症	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	0人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	80人	・突発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	3人	・ライソゾーム病(ファブリー(Fabry)病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	33人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病理診断部門との開催状況 ※毎週開催 乳腺・甲状腺症例検討会 婦人科症例検討会 呼吸器症例検討会 皮膚科症例検討会 ※毎月開催 第一外科症例検討会 泌尿器科症例検討会 腎生検症例検討会(不定期) 骨軟部腫瘍症例検討会(不定期)	
剖検の状況	剖検症例数 36例	剖検率 16.3%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
Claudin-WNKによる消化器上皮タイトジャンクションの制御機構	山内 小津枝	内科学1	2,210	補委 文部科学省
甲状腺転写因子TTF-1のエピジェネティクス制御と癌の分化誘導に関する研究	近藤 哲夫	人体病理学	1,300	補委 文部科学省
大腸癌におけるDkk familyのWntシグナル制御機構の解明	山口 達也	内科学1	2,080	補委 文部科学省
臍帯血由来NK細胞の抗白血病効果の検討	本名 浩子	小児科学	1,820	補委 文部科学省
11q23転座型急性白血病に対するFLT3阻害剤を用いた分子標的療法	高橋 和也	小児科学	780	補委 文部科学省
肺癌における分子標的治療の研究 (siRNAを用いたmTORの抑制)	松原 寛知	外科学2	1,430	補委 文部科学省
RNA干渉を利用したアレルギー性鼻炎の新しい治療薬開発の基礎的研究	遠藤 周一郎	耳鼻咽喉科	1,170	補委 文部科学省
TWEAKレセプターFn14の遺伝子プロモーター解析	岡本 篤司	耳鼻咽喉科	1,040	補委 文部科学省
甲状腺ホルモン受容体を介した膵臓β細胞増殖メカニズムの解析	古屋 文彦	第3内科	2,600	補委 文部科学省
HDAC阻害剤によるALL細胞のアポトーシス・細胞周期停止・分化誘導のメカニズム	佐藤 広樹	小児科学	2,210	補委 文部科学省
TGF-β阻害分子を標的とした悪性黒色腫治療に関する研究	神崎 美玲	皮膚科	3,510	補委 文部科学省
食道扁平上皮癌に対するHerceptin抗体療法の開発と耐性機序の解明	河口 賀彦	第1外科	2,210	補委 文部科学省
卵およびES細胞質を用いたがん細胞の初期化・再分化療法の確立に向けての基礎的検討	深澤 宏子	産科婦人科	1,430	補委 文部科学省
新たなペプチド免疫療法開発へ向けての研究	松岡 伴和	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,990	補委 文部科学省
がん幹細胞に発現する転写因子を標的とした新規分子標的療法の開発	小松 則夫	血液内科	5,850	補委 日本学術振興会
ホスホリパーゼA2を基盤とする心血管病の成因解明と新しい予防・治療薬の探索	久木山 清貴	内科学2	6,760	補委 日本学術振興会
虚血耐性の内在性神経保護作用における細胞内情報伝達系の解明	木内 博之	脳神経外科学	4,030	補委 日本学術振興会
大規模ウイルスゲノムワイド解析による慢性C型肝炎病態の包括的解明	榎本 信幸	内科学1	7,020	補委 日本学術振興会
新規血小板活性化受容体CLEC-2と生体内リガンドポドプラニンの血栓症での役割	尾崎 由基男	臨床検査医学	5,070	補委 日本学術振興会
悪性黒色腫に対する新たな治療法開発の基礎研究	島田 眞路	皮膚科学	9,490	補委 日本学術振興会
下部尿路知覚神経伝達におけるイオンチャネルの役割と新規治療応用に関する研究	武田 正之	泌尿器科学	10,530	補委 日本学術振興会
甲状腺癌のプログレッションにおける遺伝子背景の分子病理学的解析	加藤 良平	人体病理学	650	補委 日本学術振興会
重症うつ病の電気痙攣治療による脳機能画像変化と認知機能に関する検討	小林 薫	精神科神経科	780	補委 日本学術振興会
C型肝炎ウイルス蛋白NS3ヘリカーゼによるウイルス増殖制御機構の解明	前川 伸哉	内科学1	2,210	補委 日本学術振興会
劇症1型糖尿病の成因・早期診断に関する研究	遠藤 登代志	内科学3	1,690	補委 日本学術振興会
白血病細胞の糖代謝特性の解明とそれに基づく新規治療戦略の展開	桐戸 敬太	血液内科	1,690	補委 日本学術振興会
線虫ces-1相同転写因子であるSlugの白血病細胞の細胞死制御における意義	犬飼 岳史	小児科学	1,690	補委 日本学術振興会



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
自然免疫を介した炎症防御機構の臓器間相互関連の解明と、その臨床応用に関する研究	河野 寛	外科学1	2,210	補委 日本学術振興会
遷延性脳脊髄液喪失状態の脳内モノアミン代謝に及ぼす影響	堀越 徹	脳神経外科学	1,170	補委 日本学術振興会
脳虚血再灌流時のクロマカリム、デクスメトミジン、ローキナーゼ阻害薬の脳保護効果	木内 理子	麻酔科学	1,560	補委 日本学術振興会
脊髄代謝型グルタミン酸受容体に着目した脊損後排尿障害の病態解明と治療法検討	芳山 充晴	泌尿器科学	1,170	補委 日本学術振興会
膀胱求心性神経伝達における機械感受性イオンチャネルTRPA1の役割	荒木 勇雄	泌尿器科学	1,560	補委 日本学術振興会
プロスタグランジン分解代謝系遺伝子群が陰莖勃起に果たす役割に関する検討	野村 照久	泌尿器科学	1,690	補委 日本学術振興会
緑内障性軸索流障害の原因究明とその治療法の研究	柏木 賢治	眼科学	1,950	補委 日本学術振興会
血小板におけるアスピリン抵抗性の新規検査法の開発および糖尿病患者での解析	高野 勝弘	臨床検査医学	1,430	補委 日本学術振興会
C型肝炎ウイルス蛋白と相互作用する脂質ラフト構成宿主蛋白の解析	井上 泰輔	内科学1	1,690	補委 日本学術振興会
データ・マイニング解析、ウイルス遺伝子解析によるC型肝炎の病態解明	黒崎 雅之	内科学1	1,690	補委 日本学術振興会
C型肝炎ウイルス治療抵抗性における自然免疫の関与と難治要因の病態解明	朝比奈 靖浩	内科学1	1,690	補委 日本学術振興会
TCF7L2遺伝子の胚発生と糖尿病発症における役割についての研究	會田 薫	第3内科	1,170	補委 日本学術振興会
GAD65-encodingDNAワクチンを用いた1型糖尿病の予防	小林 哲郎	内科学3	2,600	補委 日本学術振興会
白血病発症におけるRUNX1遺伝子発現制御機構の解析	迫江 公己	血液内科	1,820	補委 日本学術振興会
新規血小板活性化受容体CLEC-2の第二リガンドの同定とその生体内機能の検討	井上 克枝	臨床検査医学	3,380	補委 日本学術振興会
小児難治性悪性腫瘍に対する同種ナチュラルキラー細胞による抗腫瘍効果	合井 久美子	小児科学	1,690	補委 日本学術振興会
細胞内導入ペプチドを用いた難治性皮膚疾患に対する治療薬開発の基礎研究	柴垣 直孝	皮膚科学	2,990	補委 日本学術振興会
皮膚悪性腫瘍の発生におけるAIDの関与	原田 和俊	皮膚科	1,820	補委 日本学術振興会
ヒトCD34陽性細胞移植NOGマウスを用いた経膈/経皮ウイルス感染モデルの開発	川村 龍吉	皮膚科	2,990	補委 日本学術振興会
肝臓洞機能を重視した新しい視点に基づく人工肝臓補助システムの開発	藤井 秀樹	外科学1	1,950	補委 日本学術振興会
新規癌拒絶抗原を用いた食道癌に対する癌ワクチン療法の開発	河野 浩二	外科学1	2,470	補委 日本学術振興会
インドールアミン2, 3-ジオキシゲナーゼの悪性グリア免疫回避機構への影響	佐藤 英治	脳神経外科学	2,210	補委 日本学術振興会
椎間板変性解明への分子生物学的アプローチと新しい治療法の確立	波呂 浩孝	整形外科	3,120	補委 日本学術振興会
体細胞核移植技術を応用した性ステロイドホルモン受容体遺伝子発現機構の解析	平田 修司	産婦人科学	1,560	補委 日本学術振興会
頭頸部癌における癌幹細胞の免疫学的解析と治療への応用	近松 一郎	耳鼻咽喉科	2,600	補委 日本学術振興会
タキサン系抗癌剤耐性分子の臨床的意義の解明と治療への応用	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,690	補委 日本学術振興会
最軽度アルツハイマー病脳における酸化傷害:認知機能障害発現との関連性	布村 明彦	精神神経医学・臨床倫理学	1,690	補委 日本学術振興会
表皮の恒常性維持における亜鉛の役割の解明	島田 眞路	皮膚科学	2,400	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
薬剤耐性肝炎ウイルス感染の病態解明と対策に関する研究	榎本 信幸	内科学講座第1	59,623	補委 厚生労働省
ヒト肝細胞キメラマウスを用いた治療抵抗性の肝炎に関する研究	前川 伸哉	内科学講座第1	3,000	補委 厚生労働省
ジェノミクス技術を用いたウイルス性肝炎に対する新規診断・治療法の開発	前川 伸哉	内科学講座第1	2,500	補委 厚生労働省
データマイニング手法を用いた効果的なC型肝炎治療法に関する研究	坂本 稔	内科学講座第1	1,250	補委 厚生労働省
スモンに関する調査研究	新藤 和雅	神経内科学	700	補委 厚生労働省
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に関する標準的治療法の確立に関する研究	野村 照久	泌尿器科学	300	補委 厚生労働省
代替医療の実態と有効性の科学的評価	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,000	補委 厚生労働省
リアルタイムモニター花粉数の情報のあり方の研究と舌下ペプチド・アジュバント療法の臨床研究	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,500	補委 厚生労働省
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用	大西 洋	放射線医学	700	補委 厚生労働省
定位放射線治療による予後改善に関する研究	大西 洋	放射線医学	1,444	補委 厚生労働省
高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療に関する臨床研究	大西 洋	放射線医学	700	補委 厚生労働省
精神科薬物療法アルゴリズムの最適化と均てん化に関する研究	本橋 伸高	精神神経医学	1,000	補委 厚生労働省
運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究	瀧山 嘉久	神経内科学	1,269	補委 厚生労働省
医療の質の向上のための医療情報利活用における標準化と相互運用性推進に関する諸課題の研究	佐藤 弥	地域医療学	2,000	補委 厚生労働省
循環器系シグナローム解析による疾患・病態解明のための基盤研究	尾崎 由基男	臨床検査医学	2,000	補委 国立循環器病センター
循環器疾患の地域連携パスの効果的運用システムの確立に関する研究	木内 博之	脳神経外科学	1,300	補委 国立循環器病センター
途上国における医療サービスおよび臨床研究の質の向上のための臨床検査関連システムの構築に関する研究	尾崎 由基男	臨床検査医学	2,000	補委 国立循環器病センター
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究	本橋 伸高	精神神経医学	400	補委 国立精神・神経センター
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	本橋 伸高	精神神経医学	1,100	補委 国立精神・神経センター
小児期特異的血液疾患の分子遺伝学的解析	杉田 完爾	小児科学	1,000	補委 国立精神・神経センター
上顎骨骨延長における延長量の3次元計測による評価方法の開発	中野 佳央	歯科口腔外科学	2,000	補委 (独)科学技術振興機構
HCV増殖・既存治療抵抗性・病態を制御する宿主およびウイルス遺伝子の同定	榎本 信幸	内科学1	5,000	補委 (独)医薬基盤研究所
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討)	藤井 秀樹	外科学1	13	補委 (財)がん集学的治療:研究財団
食道扁平上皮癌(SCC)に対するトラスツマブとセツキシマブを介した抗体依存性細胞媒介性細胞傷害作用(ADCC)へのインターロイキン21の効果	河野 浩二	外科学1	2,106	補委 ノボ ノルディスク ファーマ(株)
「StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究」	飯野 弥	外科学1	157	補委 (財)先端医療振興財団

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元	
ラットTNBS誘発IBDモデルを用いたMCTの抗炎症作用と消化管粘膜保護作用の検討	河野 寛	外科学1	1,300	補 委	イーエヌ大塚製薬(株)
Bard Dynaflo e-PTFEグラフトを用いた大腿-膝上部膝窩動脈バイパス術における治療成績と医療経済性の評価	榊原 賢士	救急部	54	補 委	(株)メディコン
					計82件

## 2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Gastroenterology 2008;134:1396-1405	Potential Relevance of Cytoplasmic Viral Sensors and Related Regulators Involving Innate Immunity in Antiviral Response	Yasuhiro Asahina, Namiki Izumi, Itsuko Hirayama, Tomohiro Tanaka, Mitsuaki Sato, Yutaka Yasui, Nobutoshi Komatsu, Naoki Umeda, Takanori Hosokawa, Ken Ueda, Kaoru Tsuchiya, Hiroyuki Nakanishi, Jun Itakura, Masayuki Kurosaki, Nobuyuki Enomoto, Megumi Tasaka, Naoya Sakamoto, Shozo Miyake	第一内科
2	Biochemical and Biophysical Research Communications 371 (2008) 762-766	T cell receptor-mediated signaling induces GRP78 expression in T cells: The implications in maintaining T cell viability	Shinichi Takano, Takashi Ando, Nobuhiko Hiramatsu, Asuka Kanayama, Shinya Maekawa, Yuko Ohnuma, Nobuyuki Enomoto, Hideoki Ogawa, Adrienne W. Paton, James C. Paton, Masanori Kitamura, Atsuhito Nakao	第一内科
3	Hepatology Research 2008; 38: 909-918	Griseofulvin, an oral antifungal agent, suppresses hepatitis C virus replication in vitro	Haofan Jin, Atsuya Yamashita, Shinya Maekawa, Pinting Yang, Limin He, Satoru Takayanagi, Takaji Wakita, Naoya Sakamoto, Nobuyuki Enomoto Masahiko Ito	第一内科
4	Journal of Hepatology 48 (2008) 736-742	The presence of steatosis and elevation of alanine aminotransferase levels are associated with fibrosis progression in chronic hepatitis C with non-response to interferon therapy	Masayuki Kurosaki, Kotaro Matsunaga, Itsuko Hirayama, Tomohiro Tanaka, Mitsuaki Sato, Nobutoshi Komatsu, Naoki Umeda, Takanori Hosokawa, Ken Ueda, Kaoru Tsuchiya, Hiroyuki Nakanishi, Jun Itakura, Yasuhiro Asahina, Shozo Miyake, Nobuyuki Enomoto, Namiki Izumi	第一内科
5	J Am Coll Cardiol. 2009 Jan 27; 53(4):323-30.	Persistent impairment of endothelial vasomotor function has a negative impact on outcome in patients with coronary artery disease.	Kitta Y, Obata JE, Nakamura T, Hirano M, Kodama Y, Fujioka D, Saito Y, Kawabata K, Sano K, Kobayashi T, Yano T, Nakamura K, Kugiyama K.	第二内科
6	Thromb Res. 2009 Apr; 123(6):856-61. Epub 2008 Nov 12.	Measurement of the platelet retention rate in a column of collagen-coated beads is useful for the assessment of efficacy of antiplatelet therapy.	Mende A, Obata JE, Sano K, Hirano M, Kitta Y, Kodama Y, Nakamura T, Kawabata K, Saitoh Y, Fujioka D, Kobayashi T, Satoh K, Ozaki Y, Yano T, Kugiyama K.	第二内科
7	Atherosclerosis. 2009 Apr; 203(2):483-8. Epub 2008 Jul 26.	Rapid improvement of carotid plaque echogenicity within 1 month of pioglitazone treatment in patients with acute coronary syndrome.	Hirano M, Nakamura T, Kitta Y, Yano T, Kobayashi T, Sano K, Fujioka D, Saito Y, Kodama Y, Kawabata K, Nakamura K, Obata JE, Kugiyama K.	第二内科
8	Atherosclerosis. 2009 Jan; 202(1):234-40. Epub 2008 Mar 29.	High serum levels of remnant lipoproteins predict ischemic stroke in patients with metabolic syndrome and mild carotid atherosclerosis.	Nakamura T, Obata JE, Takano H, Kawabata K, Sano K, Kobayashi T, Fujioka D, Saito Y, Yano T, Kugiyama K.	第二内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
9	J Cardiovasc Pharmacol. 2008 Apr;51(4):365-71.	Rapid stabilization of vulnerable carotid plaque within 1 month of pitavastatin treatment in patients with acute coronary syndrome.	Nakamura T, Obata JE, Kitta Y, Takano H, Kobayashi T, Fujioka D, Saito Y, Kodama Y, Kawabata K, Mende A, Yano T, Hirano M, Sano K, Nakamura K, Kugiyama K.	第二内科
10	Int J Cardiol. 2009 Feb 20;132(2):221-6.	Adiponectin is released from the heart in patients with heart failure.	Takano H, Obata JE, Kodama Y, Kitta Y, Nakamura T, Mende A, Kawabata K, Saito Y, Fujioka D, Kobayashi T, Yano T, Sano K, Kugiyama K.	第二内科
11	Diabetes	Amylase alpha-2A autoantibodies: Novel Marker of Autoimmune Pancreatitis and Fulminant Type 1 Diabetes . 58: 732-737, 2009.	Toyoshi Endo, Soichi Takizawa, Shoichiro Tanaka, Masashi Takahashi, Hideki Fujii, Terumi Kamisawa, and Tetsuro Kobayashi:	第3内科
12	Br J Haematol. 2008;142:293-300.	Identification of erythropoietin-induced microRNAs in hematopoietic cells during erythroid differentiation.	Kosaka N, Sugiura K, Yamamoto Y, Yoshioka Y, Miyazaki H, Komatsu N, Ochiya T, Kato T	血液・腫瘍内科
13	J Cell Biochem. 2008 May 15;104(2):680-691.	Hemin reduces cellular sensitivity to imatinib and anthracyclins via Nrf2.	Nagai T, Kikuchi S, Ohmine K, Miyoshi T, Nakamura M, Kondo T, Furuyama K, Komatsu N, Ozawa K	血液・腫瘍内科
14	THE JOURNAL OF DERMATOLOGY	Rat-bite fever identified by polymerase chain reaction detection of Streptobacillus moniliformis DNA	Daiki Nakagomi Nobuhiro Deguchi Akiko Yagasaki Kazutoshi Harada, Naotaka Shibagaki Masanobu Kimura Koichi Imaoka Shinji Shimada	皮膚科
15	JOURNAL OF DERMATOLOGICAL SCIENCE	Improving chemotherapeutic drug penetration in melanoma by imatinib mesylate.	Yoichi Ogawa Tatsuyoshi Kawamura Masao Furuhashi Katsuhiko Tsukamoto Shinji Shimada	皮膚科
16	皮膚科の臨床	セレコキシブによる薬疹の1例 本邦で初めての報告	出口 順啓 原田 和俊 矢ヶ崎 晶子 佐野 信也 川村 龍吉 柴垣 直孝 島田 眞路	皮膚科
17	西日本皮膚科	Muir-Torre症候群の2例	出口 順啓 原田 和俊 矢ヶ崎 晶子 柴垣 直孝 島田 眞路 塚本 克彦	皮膚科
18	皮膚病診療	背部弾性線維腫	青木 類 熊野 充剛 沖 正直 岩本 拓 高山 修身 島田 眞路	皮膚科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
19	臨床皮膚科	神経線維腫症1型に合併した悪性末梢神経鞘腫瘍の姉弟例	石川 めぐみ 安藤 典子 岩本 拓 原田 和俊 古橋 正男 川村 龍吉 柴垣 直孝 佐藤 栄一 村田 晋一 島田 眞路	皮膚科
20	皮膚科の臨床	炎症性粉瘤との鑑別を要した皮膚腺病の1例	青木 類 中村 悠美 原田 和俊 川村 龍吉 柴垣 直孝 松江 弘之 島田 眞路	皮膚科
21	Skin Cancer	シスプラチンおよび塩酸ドキシソルピシンによる化学療法が奏効した眼瞼部basosquamous cell carcinomaの1例	中村 悠美 川村 龍吉 小川 陽一 猪爪 隆史 柴垣 直孝 松江 弘之 金子 明博 島田 眞路	皮膚科
22	臨床皮膚科	左腋窩に局限した乳房外Paget病の1例	岡本 崇 相山 秀昭 原田 和俊 川村 龍吉 柴垣 直孝 島田 眞路	皮膚科
23	皮膚科の臨床	植皮部に生じたTraumatic Neuromaの2例	神崎 美玲 小川 陽一 猪爪 隆史 長阪 晶子 川村 龍吉 柴垣 直孝 島田 眞路	皮膚科
24	臨床皮膚科	抜菌とトラニラスト内服が有効であったMelkersson-Rosenthal症候群の1例	神崎 美玲 山口 美由紀 川村 龍吉 柴垣 直孝 島田 眞路 宗像 源博	皮膚科
25	皮膚病診療	クルミによるoral allergy syndrome(OAS)	安藤 典子 島田 眞路	皮膚科
26	Hepatology; 47: 1544-1556	Clinicopathological study on cholangiocellular carcinoma suggesting hepatic progenitor cell origin.	Komuta M, Spee B, Vander Borgh S, De Vos R, Verslype C, Aerts R, Yano H, Suzuki T, Matsuda M, Fujii H, Desmet VJ, Kojiro M, Roskams T	消化器外科、乳腺・内分泌外科
27	Oncology; 74(3-4): 143-9	Protein-bound polysaccharide K partially prevents apoptosis of circulating T cells induced by anti-cancer drug S-1 in patients with gastric cancer.	Kono K, Kawaguchi Y, Mizukami Y, Mimura K, Sugai H, Akaike H, Fujii H	消化器外科、乳腺・内分泌外科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
28	J. Surg. Res; (In press)	Inhibition of the Kupffer cell increased serum HMGB1 levels and the mortality in a rat septic peritonitis model.	Kono H, Fujii H, Tsuchiya M, Hirai Y, Ishii K, Hosomura N	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
29	J Surg Res; 150(2): 169-182	Inhibition of the Kupffer cell and neutralization of IL-10 increase the expression of chemokines in the lung in a rat peritonitis model.	Kono H, Fujii H, Tsuchiya M, Hirai Y, Ishii K, Hosomura N, Tanaka N	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
30	J Gastroenterol.; (in press)	Dietary olive oil prevents carbon tetrachloride-induced hepatic fibrosis in mice.	Tanaka N, Kono H, Ishii K, Hosomura N, and Fujii H	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
31	Int J Cancer.; 122(10): 2286-2293	CCL17 and CCL22 chemokines within tumor microenvironment are related to accumulation of Foxp3+ regulatory T cells in gastric cancer.	Mizukami Y, Kono K, Kawaguchi Y, Akaike H, Kamimura K, Sugai H, Fujii H	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
32	Br J Cancer; 99(9): 1462-1467	Downregulation of HLA Class I molecules in the tumour is associated with a poor prognosis in patients with oesophageal squamous cell carcinoma.	Mizukami Y, Kono K, Maruyama T, Watanabe M, Kawaguchi Y, Kamimura K, Fujii H	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
33	Cancer Sci; 99(7): 1448-54	Detection of novel cancer-testis antigen-specific T-cell responses in TIL, regional lymph nodes, and PBL in patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Mizukami Y, Kono K, Daigo Y, Takano A, Tsunoda T, Kawaguchi Y, Nakamura Y, Fujii H	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
34	J Gastroenterol; 44(3): 204-11	Medium-chain triglycerides enhance mucous secretion and cell proliferation in the rat.	Ishii K, Kono H, Hosomura N, Tsuchiya M, Ohgiku M, Tanaka N, Fujii H	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
35	Int.J.Cancer; 123: 2503-2511	Protective effect of Juzen-taiho-to on hepatocarcinogenesis is mediated through the inhibition of Kupffer cell-induced oxidative stress.	Tsuchiya M, Kono H, Matsuda M, Fujii H, and Ivab Rusyn	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
36	Gan To Kagaku Ryoho; 35(2): 319-22	Two advanced/recurrent breast cancer cases effectively treated by trastuzumab/capecitabine combination therapy.	S. Inoue S, Inoue M, Takahashi H, Inoue A, Kunitomo K, Fujii H	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
37	Oncol Rep 2008;19:1381-8.	ERAP140/Nbla10993 is a novel favorable prognostic indicator for neuroblastoma induced in response to retinoic acid.	Hiroshi Arai, Toshinori Ozaki, Hidetaka Niizuma, Yohko Nakamura, Miki Ohira, Kunio Takano, Masahiko Matsumoto, Akira Nakagawara.	第二外科